

定例記者会見市長挨拶

令和5年2月8日（水）午後3時から 庁議室

記者の皆様には、お忙しいところ定例記者会見にご出席いただき、誠にありがとうございます。また、日ごろから市政に対しまして、ご理解とご協力を賜り、厚く御礼を申し上げます。

昨年末の市長選挙におきまして、市民の皆様の信託を受け、5期目として再度、市政のかじ取り役という重要な職責を担わせていただくこととなり身の引き締まる思いでございます。

私は平成19年1月の市長就任以来「住んでよし 働いてよし 訪れてよし」の次世代に誇れる空の港まち、生涯を完結できるまちづくりに向けて、全身全霊をささげ市政運営に取り組んでまいりました。

5期目にあたり「つなぐ未来へ進化するまちづくり」をスローガンとし、本市のさらなる発展に向けて、成田空港の更なる機能強化に対応したまちづくり、国家戦略特区制度の活用、騒音地域の振興、少子高齢化対策、教育環境の拡充、新型コロナウイルス感染症により落ち込んだ経済の活性化などの課題へ果敢に挑み、市民の皆様が希望を持ち安全・安心に暮らせる「進化するまち」を目指して、これまで築いてきた国や空港周辺9市町などとの信頼関係や4期16年の経験を生かし、全力で市政運営に取り組んでまいります。

さて、令和5年度の予算編成ですが、本市の財政は、空港関連税収をはじめとして、景気に左右されにくい固定資産税を基調に全国有数の財政力を堅持し、各種財政指標からも判断されるように財政の健全性が維持されており、歳入面においては、市税収入が順調に回復するなど、長期化していた新型コロナウイルス感染症の影響を脱しつつあります。

一方、歳出面においては、将来を見据えて取り組んでいるまちづくりや高齢化対策、子育て施策しさくの拡充などにより、公債費や扶助費などの義務的経費が増

加傾向にあることに加え、公共施設の長寿命化や更新を行うに当たり多額の財政負担が見込まれることなどから、より一層の効率的な財政運営が求められております。

このような中、令和5年度の予算の編成においては、総合計画「NARITA 未来プラン」に掲げた「住んでよし 働いてよし 訪れてよしの生涯を完結できる空の港まち なりた」の実現に向け、事業の選択と集中を行うことにより、限られた財源を重点的かつ効率的に配分し、子育て施策^{しやく}の一層の充実や新たなまちづくりに積極的に取り組むことにより、一般会計では、対前年度比3.7パーセント増の647億円と過去最大規模、特別会計及び地方公営企業会計を加えた全体では、3.1パーセント増の約977億円の予算を編成いたしました。

さて、3月議会に提案を予定しております議案の詳細につきましては、この後、「総務部長」並びに「財政部長」よりご説明いたしますので、よろしくお願いいたします。

以上、本日の定例記者会見にあたっての挨拶とさせていただきます。